

伊万里 市議会だより

令和2年(2020)5月 第73号



田んぼの学校 大川内小学校(令和元年5月10日)

表紙の写真を募集します!

(詳しくは、3ページをご覧ください)



令和2年第2回定例会は、6月8日(月)開会予定です。

市議会のホームページは「伊万里市議会」で検索、または右のQRコードからご覧ください。

第1回定例会 令和2年3月2日(月)～23日(月)

上程された議案は、すべて可決しました

令和2年度 一般会計当初予算	267億6,300万円 (前年比 +5.7%)
令和2年度 3月補正額 △220万4千円	予算総額 267億6,079万6千円
令和元年度 3月補正額 △1億2,812万円	予算総額 289億7,902万9千円 (前年比 +1.4%)

議会日程を変更しました

～ コロナウイルス感染症対策 ～

令和2年第1回定例会は、全国的にコロナウイルス感染が拡大したことから、常任委員会、採決等を前倒しし、一般質問の日程を3日から1日に減らすことで、議会として市のコロナウイルス感染症対策に協力しました。

【変更前】

開会 ⇒ 議案質疑 ⇒ 特別委員会 ⇒ 一般質問(3日間) ⇒ 常任委員会審査 ⇒ 3/23本会議 討論・採決

【変更後】

開会 ⇒ 議案質疑 ⇒ 特別委員会 ⇒ ① 常任委員会審査 ⇒ ② 3/17本会議 討論・採決 ⇒ ③ 一般質問(1日間)

【変更理由】

- ① 議案については、3つの常任委員会で専門的に審査する必要があるため、常任委員会の日程を前倒しました。
- ② 地方自治法に定められた条例設置や改廃、予算を定めることなど議決を要するものについては、最優先で行う必要があるため、本会議での討論・採決を前倒しました。
- ③ 市長や市職員にコロナウイルス感染症対策に力を注ぎ、国からの要請など不足の事態に備えてもらうために、今回の一般質問は「不急」の内容を避けると共に、主な対策の担当部署である健康づくり課や教育委員会への質問は極力自粛することで、一般質問の日程を3日から1日に減らしました。

敬老祝金の廃止について

今議会で賛否がありました「敬老祝金支給条例を廃止する条例制定について」反対討論、賛成討論の内容と採決の結果をお知らせします。

【反対】樋渡 雅純 議員

特定年齢の高齢者に、社会として長寿を祝福し、その具体的態度として、一定程度の祝金支給は必要。県内8市でも継続され、本市では継続可能なものへと、どこよりも大きく見直している。廃止は今ではない。

【賛成】井手 勲 議員

高齢者を敬う気持ちに変わりはない。だからこそ、限られた財源の中で高齢者の安心と長寿を願い、(88歳・一回限り・一律3千円の現金給付ではなく)より多くの方々に対して効果的な施策(各町での高齢者生きがいづくり、認知症高齢者等損害保険加入事業など)を打ち出す必要があると考える。

賛成15名、反対5名で廃止を決定しました

固定資産評価審査委員を同意しました

- 松尾 正巳さん(立花町) ●田中 悦幸さん(東山代町) ●松本 修二さん(鳥栖市/不動産鑑定士)

人権擁護委員を推薦しました

- 久保 三田郎さん(二里町)

広報広聴委員会 行政視察報告

より良い「議会だより」への研究と改善のために、1月30日～31日まで熊本県大津町と鹿児島県始良市で学んできました。

ポイントとして、

- ① まずは手に取ってもらえる
- ② 短時間で読める
- ③ 写真を多く、文字は少なく



上記の3点、両議会に共通しており大変参考になりました。

今回の市議会だよりから、カラー2ページを活用して表紙の刷新と、特集として「市議会豆知識」を掲載しました。

今後も改善を続けてまいります。

意見書

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書(可決)

伊万里市においても観光業・飲食業・サービス業はもとより、多くの市民に甚大な影響が出ており、また感染者の増大に備えた体制の整備が求められている。

このため、新型コロナウイルス感染症に起因する対策について、国の緊急な支援及び重点的な対応が必要不可欠であることから提出する。(商工業者への経営支援、個人の所得補償、情報発信、医療面の充実、地方自治体への支援について)

国会および政府、関係機関に提出しました。

市役所の機構改革に伴い、「産業建設委員会」は「環境建設委員会」に変わりました。

所管：市民生活部、建設農林水産部、農業委員会、上下水道部(令和2年4月1日から)

表紙の写真を募集します

市議会だよりの表紙に使用する、素敵な写真を募集します。(スマホ写真もOK)

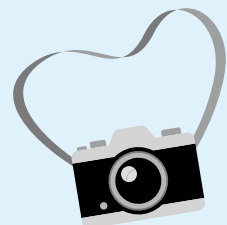
【応募方法】

下記の内容を記載の上、議会事務局へ持参、もしくは郵送、メールにて応募をお願いします。

お名前、ご住所、連絡先電話番号、題名、撮影場所、コメント(あれば)

【注意事項】

- (1)伊万里市内で撮影したものに限り、(立ち入り禁止区域不可)
- (2)明確に人物が写っている場合は、応募前にその人の了解を得てください。
- (3)投稿写真は応募者本人が撮影し、すべての著作権を有するものに限り、
- (4)お名前、町名、題名は、原則として掲載させていただきます。
- (5)応募写真に関する著作権、肖像権等の問題が発生した場合、その責任および解決はすべて応募者に帰属するものとします。
- (6)応募された写真は伊万里市議会および市の広報媒体等で無償にて使用や展示をされることがあり、応募者への写真利用許諾申請などは原則行いません。
- (7)応募作品は返却いたしません。



【お問合せ】

議会事務局 〒848-8501 立花町1355番地1 TEL/0955-23-2594 E-mail/gikai@city.imari.lg.jp

議員研修会を実施しました

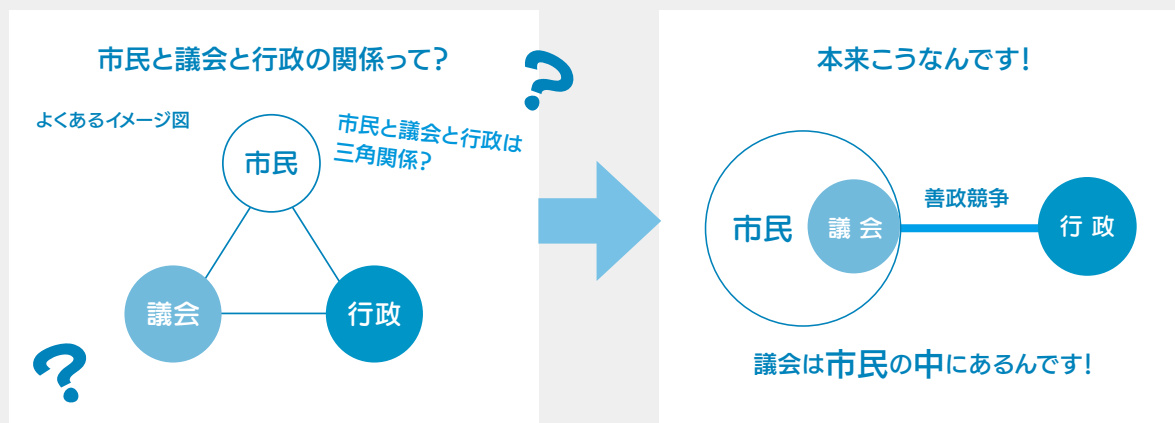
西脇市議会の事例を学びました。

伊万里市議会では、活動の規範を議会基本条例で示し、きちんと住民と向き合うことを約束しています。この約束を守っていくために、研修会を行っています。

今回は、今年度「マニフェスト大賞優秀成果賞★」を受賞された、兵庫県西脇市議会の林晴信前議長に「西脇市議会の改革について」と「市民との意見交換会を政策実現した委員会活動について」講義していただきました。取り組める事から始めたいと思います。

ポイント① 市民と行政と議会の関係性は？

分立する関係ではなく、議会は市民の中にあるのが議会。



ポイント② さまざまな、住民との意見交換会や意見収集の手法

- ・2年かけて、市内の全行政区で座談会を開催している。
- ・高校生を対象に、意見交換会を開催。

ポイント③ 議会力の強化

- ・定例会の「ふりかえり」の実施し、議員の共通理解を促進し、改善を図っている。
- ・一般質問の中から厳選した課題を委員会で深掘りし、政策提言するサイクルを作り出し「花も実もある一般質問」となる取り組みを実施。(市民との意見交換会で出された「地域交通への取り組み」が政策として実現され、マニフェスト大賞最優秀成果賞を受賞)



西脇市議会 林晴信 前議長



★マニフェスト大賞：「善政競争」の輪を広げることを目的として、地方自治体の議会、首長や地域主権を支える市民等の活動を募集、表彰。2006年に始まり、14回を数える。早稲田大学マニフェスト研究所などが共催。

総務委員会

《所管》総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、出納室、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に属しない事項

付託された議案等は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

【予算議案】

■一般会計予算(当初予算)

○シティプロモーション推進事業…276万8千円

企業誘致や観光振興、地場産品の販路拡大などの取組をさらに強化するため、市民とともに本市の魅力ある資源を市内外に広くPRする取組について検討するためのものです。アドバイザーの人選については、先進的な取組へのノウハウがあり、伊万里に理解のある方が望ましいとの回答でした。

○地域づくり推進事業(地域づくり交付金)…715万円

人口減少や少子高齢化が進む中、地域住民が主体となって、住み慣れた地域を将来にわたって維持していくため、まちづくり運営協議会等の地域の将来を見据えた自立運営を目指す取組に対し、交付するためのものです。目的から外れないような事業の推進を図ることと委員会から意見を付しました。

○市民センター改修事業…410万円

市民会館大ホールの廃止に伴い、文化ホールの映像を文化ギャラリー等で視聴できるよう映像機器を設置する費用です。設置後27年が経過し老朽化が進んでいる一方で、市民会館大ホールの廃止により利用増が見込まれる。トイレの洋式化など、市民がより利用しやすいよう早急な施設の改善を求めると委員会から意見を付しました。

【補正予算議案】

■一般会計補正予算(第6号)

○プレミアム付商品券発行事業…△1億7,469万8千円

消費税引上げに伴う家計の負担緩和や地域の消費下支えを目的としているが、申請率及び購入者数が見込みを下回ることから、事業費を減額するものです。低所得者10,889人に対して申請者4,151名(38.1%)、事前に購入しなくてはいけないので制度に問題があったのではという指摘に、全国的にも低調であり意見を国にも伝えていきたいとの回答でした。

【委員会としての意見】

- ・避難所誘導標識については、他市の事例を参考に、日ごろから避難所の存在を意識づけることができるよう工夫すること。
- ・「予算の概要」は予算の内容について議会や市民への説明責任を果たすためのものである。可能な限り事業ごとに作成し、内容をより具体的に書き込むなど、なお一層の充実を図ることを伊万里市議会基本条例第9条の規定により要請する。



3月12日(木)、伊万里市民センターを現地視察

◎中山 光義 ○岩崎 義弥
馬場 繁 加藤奈津実 川田 耕一
前田 久年 盛 泰子

文教厚生委員会

《所管》 市民部(保健・福祉・環境・人権同和)、教育委員会

付託された議案等は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

【条例議案】

■伊万里市留守家庭児童クラブ条例の一部を改正する条例制定について

東山代小学校では入学児童の増加に伴い、留守家庭児童クラブで使用している教室が使えなくなるため、東山代公民館を使用して対応するために改正するものです。

■伊万里市敬老祝金支給条例を廃止する条例制定について

88歳の市民への祝い金の支給を廃止し、高齢者の健康増進と介護予防事業の充実が図られます。委員会での採決で、賛成4名、反対3名で可決すべきものとしました。

—新たに取組まれる事業—

○認知症高齢者等損害保険加入事業…20万円

在宅の認知症高齢者の行為により本人やその家族等が、第三者に対して法律上の損害賠償責任を負った場合に、市が保険契約者として加入する保険で補償されます。

○いきいき百歳体操活動支援費補助金の創設…124万円

通いの場において、週1回以上いきいき百歳体操に取り組み、住民主体の介護予防活動を推進する団体に補助金が交付されます。

○サポーター養成教室の開催…1万5千円

いきいき百歳体操サポーターを地域ごとに養成されます。

【令和元年度 補正予算】

■一般会計

○障害者や障害児、その家族に給付するサービス費が見込みを上回るため増額するためです。

■国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計

○交付金の額が決定したことにより、当初予算と調整を図るため補正されました。

【令和2年度 予算】

■一般会計

○スポーツ合宿誘致事業…… 170万円

多数の学生団体が利用されているが、補助金が減額されているので、早急に関係団体へ周知を図るよう求めました。

○学校教育総務事業…………… 1億2,583万2千円

特別支援児童生徒支援員は、対象が増え役割が重要となっているが、人員が削減されているので、十分なサポート体制の整備を求めました。

■特別会計

高齢化に伴い、年々増加傾向にあります。

○国民健康保険特別会計…… 69億1,618万4千円

○介護保険特別会計…………… 61億9,266万5千円

○後期高齢者医療特別会計… 14億6,783万8千円

◎井手 勲 ○前田 邦幸
西田晃一郎 力武 勝範 前田 敏彦
山口 恭寿 樋渡 雅純

産業建設委員会

《所管》 産業部、建設部、上下水道部、農業委員会

付託された議案等は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

【予算議案】

○浄化槽設置促進事業…2,290万4千円

浄化槽を設置する世帯に対し、設置に要する経費を補助するものです。

○伊万里の“いい職”説明会開催事業…85万1千円

市内企業のPR、就職情報の提供等を行うため、企業説明会を開催するものです。

○新規就農者支援事業…1,122万3千円

農業の安定した持続のため支援を行い、担い手や後継者の確保、育成を図るものです。

○伊万里梨産地強化支援事業…429万1千円

梨の農家や栽培面積が減少し、ブランド梨としての産地維持が危惧されるため、生産強化、園地の若返りを図り、梨園を守るために就農支援者の研修期間中の生活などに要する経費の補助です。

○伊万里牛産地強化支援事業…727万4千円

肉用牛の農家や飼養頭数が減少し、ブランド牛としての産地維持が危惧されるため、生産強化を図り、肥育牛農家の経営規模の拡大や一貫経営の取組に要する経費を補助するものです。

○楠久津地区浸水対策事業…2億9,424万円

福川内川(山代町)の下流域(楠久津地区)において、伊万里湾満潮時の豪雨による浸水被害が頻発していることから、被害低減を図るために排水機場を整備するものです。

【質疑】

・楠久津地区以外の浸水対策について

(回答) 浸水対策事業は緊急自然災害対策事業債という令和2年度までの時限的な制度による事業であり、制度が延長されて、市の財政に余裕があれば楠久津地区以外の浸水対策にも取り組みたい。

・有害鳥獣による農作物の被害状況

(回答) JA伊万里の調査によれば年1,850万円程度の被害が確認されている。

・地域経済における市内周遊観光券の効果

(回答) 元年度の周遊観光券の実績が950冊であることや観光券の対象が宿泊客であること、そして利用状況などから、経済効果は最低でも1,200万円と試算している。

【委員会としての意見】

就農支援関係の事業については、これまで以上に移住・定住支援の担当部署と連携を強化し、より一層の情報発信に努めること。



楠久津地区浸水対策整備箇所

◎松永 孝三 ○山口 常人
坂本 繁憲 梶山 太 松尾 雅宏
渡邊 英洋 笠原 義久

まちづくり・観光振興特別委員会

1. まちづくりの取り組みについて

地域づくりを取り巻く環境が変化する中、「住み慣れた地域で将来にわたって元気に安心して暮らせるまち」を目指し、自助・互助による課題の解決やまちづくりへの取り組み活動を促進するため、各地区・町で引き続き今後の地域づくりの在り方、取り組み方策(将来ビジョン)について検討が行われます。近隣のNPO法人や社会福祉協議会などへの視察研修を行った地域や、具体的なイベントの開催を企画し準備を進めている地域も出てきました。それぞれの地域での話し合いや計画書の作成が進められています。また、市内の各地域で横の繋がりをもち、他の取り組みを知るための事例発表会等も予定されています。

2. 観光の取り組みについて

(1) 観光振興団体支援事業

市観光協会ではオール伊万里の営業体制を整えるため、市内事業者が持つ商品の特徴、納期、生産者情報などを分かりやすく商談シートにまとめ、リスト化したことで営業活動の際に提示できるようになり、さらなる販路拡大が期待されています。今後「流通販売部会」の立ち上げが予定されるなど、観光協会の体制強化が図られています。

(2) 観光総務事業

将来に向けた地域経済の一体的かつ持続的発展を図るため、佐世保市を中心市とする県境を越えた5市6町が「西九州させほ広域都市圏」を形成しました。圏域でのターゲットを明確にした取り組みが計画されています。

(意見) コミュニティセンターの利用については、センターによって対応が異なるように情報の共有と蓄積に努めること。

視察報告(1月21日~22日)

○福岡県飯塚市「協働のまちづくりについて」

飯塚市は基本理念の1つに「市民と行政が協働で創るまち」づくりを掲げています。平成24年度までに市内の12地区すべてにおいて「まちづくり協議会」が設立され、平成30年4月には地域づくりの拠点にするために地区公民館を交流センター化するなど、様々な取り組みが行われています。それぞれの協議会の取り組みを発表する「まちづくり協議会事例発表会」など、本市の参考となる取り組みがいくつもありました。

○山口長門市「観光振興の取り組みについて」

長門市は都市形態が水産観光都市に分類されており、近年は市内の神社が海外のテレビ局やSNS等で取り上げられたことで観光客が大幅に増えています。長門市は本市とは異なり温泉資源に恵まれ、歴史のある温泉旅館などがある反面、安価で利用しやすいビジネスホテルタイプの宿泊施設が無いため、宿泊客が伸び悩んでいるという課題を抱えていました。長門市では「経済効果を実感できる観光振興」という基本方針に基づき新たな取り組みとして、外国人観光客への対応と誘客促進のためにフリーWi-Fiの整備が予定されています。また単なる観光客の利便性向上に留まらず、そこから得ら

れる観光客の情報を分析し、その結果を活用しての周遊観光の促進まで考慮されていました。情報の発信、収集、分析、活用という長門市の情報戦略は本市のこれからの観光振興を考える上で参考となる部分がありました。



飯塚市での視察の様子

◎松尾 雅宏 ○加藤奈津実
松永 孝三 前田 久年
笠原 義久 渡邊 英洋

公共施設最適化調査特別委員会

本市において、公共施設、道路等の整備を進めてきておりますが、施設等の建設から30年以上が経過し、現在、その多くが更新時期を迎えています。令和元年5月から7月に開催された「今後の伊万里市の行財政運営について」の地区説明会の中で示されている(公共施設等の老朽化問題を含む)ファシリティマネジメントでは、長期的な視点を持ち、公共施設の更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減、平準化が必要であり、最適な配置を目指して行く必要があると示されています。

本委員会では公共施設等総合管理計画、市立学校規模適正化協議会、公立保育園等施設整備検討委員会の協議内容等について執行部と意見交換を行いました。

1. 伊万里市公共建築物再配置方針について

すべての公共施設を更新することは財政的に厳しい状況にあり、今後どのように再配置し、管理していくのかなど、基本的な考え方を整理していく必要があります。

このため、公共建築物の総量縮減、長寿命化や建替え施設の厳選、複合施設の推進、民営化等の検討、利用圏域を考慮した公共施設の配置など、今後、施設の再配置等を検討する際の10の方針が示され、総合的かつ計画的な管理に取り組んでいくこととされております。

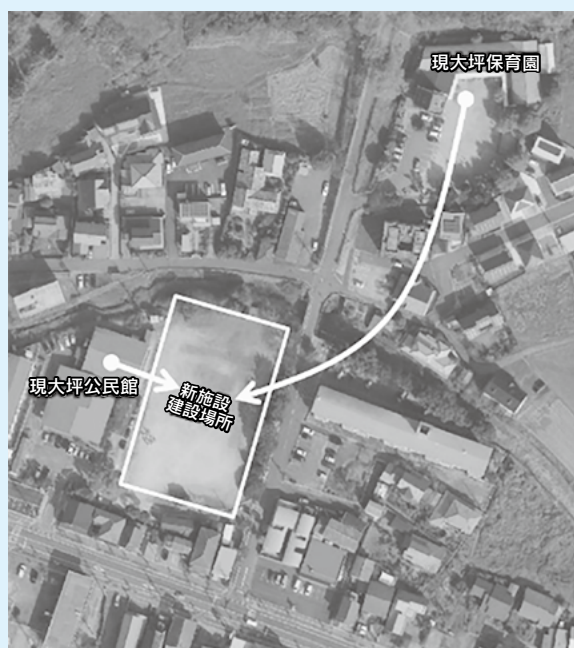
2. 伊万里市立学校規模適正化について

これまで3回の協議会が行われ、「滝野中学校は、国見中学校と統合する。あわせて、滝野小学校は、東山代小学校と統合する。」との最終答申が出され、令和2年度から地元説明を行い、統合に向けた協議が行われます。また、市全体の学校の在り方についても協議を行い、令和2年度中の答申を目標とされています。

3. 公立保育園等施設整備検討委員会について

公立保育園、幼稚園については、すべての施設で建設後33年以上が経過し老朽化が進行しています。大坪保育園を除く5園と幼稚園について、民営化を含めた施設整備の基本計画を策定するにあたって、検討委員会が設置され協議がなされてきました。

第4回検討委員会において、公立保育園等施設整備基本計画の素案が示され、大坪保育園について



新施設建設予定位置図

は公設公営とし、市内の保育園等との研修等を通じた人材育成機能や子育て支援ネットワークの拠点となる基幹型保育所と位置付ける。残り5園については民営化を基本に、施設の整備、運営を進め、民営化にあたっては、公私連携型保育所制度の導入を検討する。施設整備にあたっては、適正な規模となるよう定員等の見直しを行うとの公立保育園の整備方針が示され、了承されています。

この計画について、パブリックコメントがなされていますが、保護者、関係者等への説明、周知不足も感じられるため、具体的な実施計画においては意見を聞く機会を設け合意形成に努められるよう意見を付しました。

◎樋渡 雅純 ○川田 耕一
西田晃一郎 山口 常人
中山 光義 井手 勲

一般質問 (質問順)

議員名	質問事項
前田 邦幸	1.公立保育園等の民営化について (1)公立保育園等施設整備検討委員会の現在までの状況 (2)今後の民営化の進め方
中山 光義	1.地方創生事業について (1)一期地方創生事業の取り組みと成果、課題 (2)二期地方創生事業の取り組みと方向性 2.市長の政治姿勢、将来ビジョンについて

議員名	質問事項
松永 孝三	1.市政運営について (1)市政運営の基本方針 (2)人口減少問題 (3)水道事業の今後の方針 (4)事業が廃止・休止になった理由 2.財政運営について (1)当初予算編成の基本方針 (2)ふるさと応援基金充当事業 (3)補助事業を活用した地域づくり



◆市議会ホームページから一般質問の動画が視聴できます。「伊万里市議会」で検索。または、左記のQRコードからご覧ください。

答弁 市民部長
公共保育園の整備方針としては、6園の内、大坪保育園を公設公営とし、残り5園は、建設後33年から45年経過しており、老朽化は進行しており、本市の財政状況等考慮し、5園に

質問 公立保育園等施設整備基本計画の内容について。

答弁 市民部長
委員会は区長会、民生委員、民営幼稚園の園長、公立幼稚園育友会会長、計13人で構成。検討委員会、第1回は令和元年10月29日、第2回目は11月28日、第3回目が12月16日にあり、委員会から市の施設整備に対する考え方を示してほしいとの提案がなされた。第4回目を令和2年2月4日に開催し、施設整備基本計画案を提示した。素案の形で検討委員会は4回で終了した。

質問 公立保育園等施設整備検討委員会審議経過について。



前田 邦幸

公立保育園等の民営化について

答弁 市民部長
議会の承認を受け、条件の整った保育園から1日も早く民営化を進めたい。

質問 今後の民営化のスケジュールは。

答弁 市民部長
公立の園をもつ二つ残すことは財政的に厳しい。

質問 大坪保育園を核として、人材育成機能や子育て支援ネットワークの拠点にするとのことですが、大坪保育園の建て替え計画は限られたスペースに限られた面積の施設です、厳しいのでは。私は、もう1園、公立で持つべきと思う。1号認定のお子さんも受け入れ出来るよう黒川幼稚園と伊万里保育園を1つにして、幼保連携型こども園「伊万里こども園」を公営で運営することにより、「子ども子育て支援機能の拡充の強化」配慮を必要とする児童等や家庭への支援を図られると思うが、市の考えは。

については、条件の整った保育園から順次民営化を行い、施設の整備運営を進める。黒川幼稚園は、今後も園児数の増加は見込めず、フアシリティマネジメントの観点も踏まえ、閉園も視野に入れた施設のあり方を検討する。

第一期5年間の 地方創生事業の成果と 課題について



中山 光義

質問 企業誘致等による若者雇用者数は。

答弁 産業部長
企業誘致実績18社の586名、農業への新規就業者は55名で、課題として、一丁関連企業の誘致と伊万里梨、伊万里牛においての後継者の確保が課題である。

答弁 政策経営部長

移住、定住対策の推進については、移住促進奨励金制度等を活用された移住者は平成28年から令和元年まで78世帯220名。

課題として、伊万里の魅力や移住に関する情報をいかにして伝えるかが大変重要である。

質問 地方創生事業がどのように伊万里市の人口ビジョンに反映したか、その成果は。

答弁 政策経営部長
目標とする人口には及んでいない。

各部署で更に連携を図り、様々な施策に取り組む必要がある。

答弁 市長

伊万里市で就職をするという選択をしていただくことであり、一丁関連事務系の企業誘致については一定の評価ができるころだと考えている。

質問 第一期地方創生事業の取り組みと今後のスケジュールは。

答弁 政策経営部長
令和元年度中に第一期戦略を策定せず、第一期総合戦略を令和2年9月まで延長したうえで、効果検証を行い、第一期戦略を策定する。

質問 市長の今後の市政運営と将来ビジョンについて。

答弁 市長

伊万里市を選んでいただけるような「まち・市」を目指したい。そのためには、伊万里市の情報発信を力強く行っていく。特に、農業分野等においても素晴らしい産品が多数ある、充分支援を行う。

また、伊万里港を活かしていくために、伊万里港の長期計画に取り組みていきたい。伊万里市をよくする、という意識をもって持続可能な市・まちづくりを目指したい。

市政運営について



松永 孝三

質問 市政運営の基本方針（機構改革）についての、市長の思いは。

答弁 市長

市民サービスを最優先に改革を行いながら職員の意識も改革し、第6次総合計画の基本理念「時代に柔軟に適応し、みんなで支え育てるまちづくり」を進めていく。

質問 当初予算の基本方針について。

答弁 市長

費用対効果や必要性などを見極め、事業の縮小や廃止を行うだけでなく、未来への投資、市の今後にとって有益な施策の実現も、私の責務であり、新たな事業の選定にも積極的に取り組んだ。

質問 上下水道事業の今後の方針について。

答弁 上下水道部長

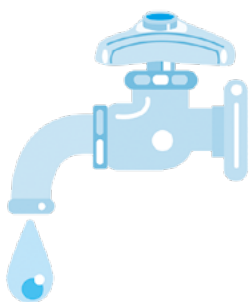
伊万里市水道施設更新計画に基づき、令和9年度までに事業費約45億

円を見込んでおり、すべての施設を更新するとなれば、莫大な費用がかかる。料金改定を視野に入れた費用確保が今後の大きな課題と言える。水源の枯渇や水質の悪化など地域の抱える課題において、市民への安全で良質な水道水を供給することは、水道事業を担う市水道の使命の一つである。対応の方向性を検討していきたいと考えている。

質問 大連市からの公務研修生の事業が廃止・休止になった理由について。

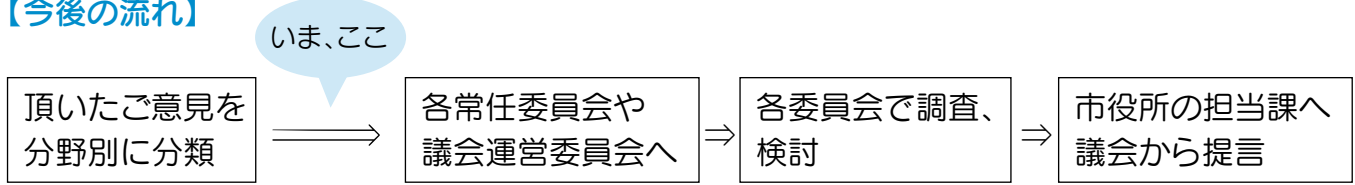
答弁 政策経営部長

大連市との様々な交流事業が展開され、多岐にわたる分野で実績と成果が積み重ねられてきた。取り巻く環境は、時代の変遷と共に変化し、新たな局面を迎えており、公務研修生の受け入れは一旦休止し、時代や環境の変化における両市の課題解決に向けた事業など、今後、協議・検討する。

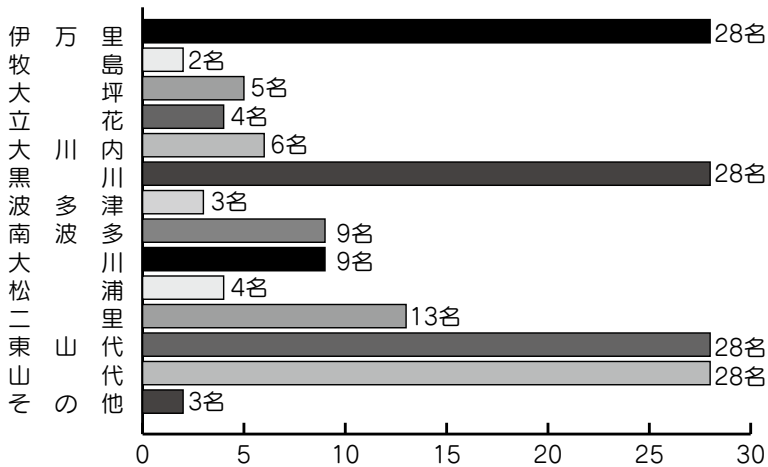


意見交換会」報告

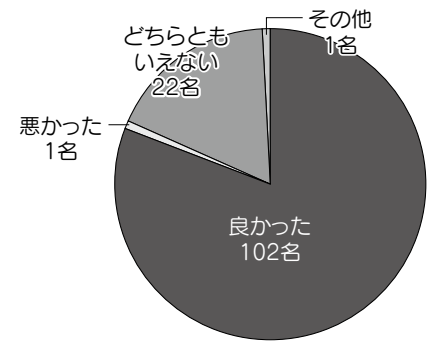
【今後の流れ】



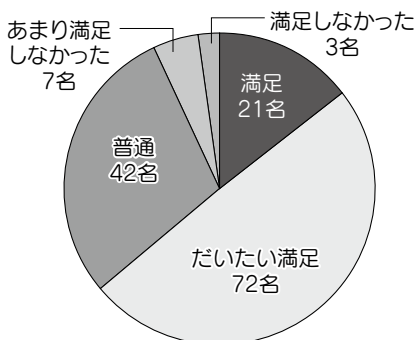
問3 あなたの住んでいる地域はどこですか。



問5 少人数形式での今回の意見交換はいかがでしたか。



問7 今日の議会報告会(意見交換会)の満足度はいかがですか。



お知らせ等

常任委員会

特別委員会

一般質問

アンケート

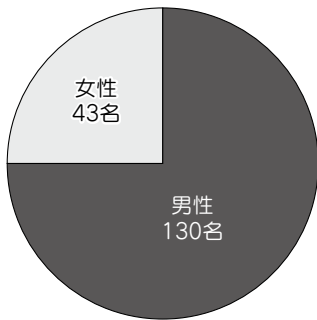
「第3回 議員と語ろう」

2/17(月)～21(金)に市内7ヶ所で開催しました「議員と語ろう・意見交換会」については、寒い時期にも関わらずご参加いただきありがとうございました。今回は、今後の流れと、アンケートの結果についてお知らせします。

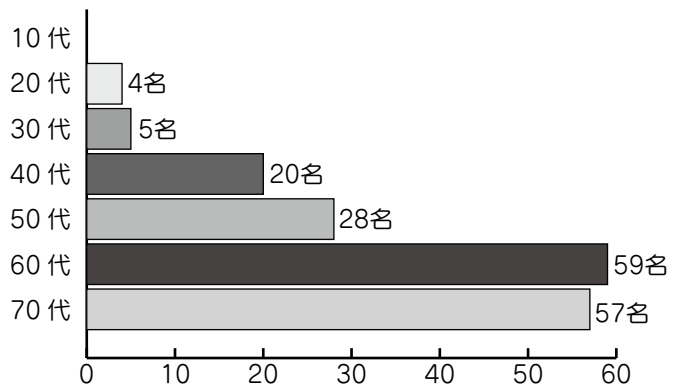
※これまで2回の実施報告は各町コミュニティセンターに設置しております。

【アンケートより】 ● 総参加人数 184名 ● アンケート回収数 170名

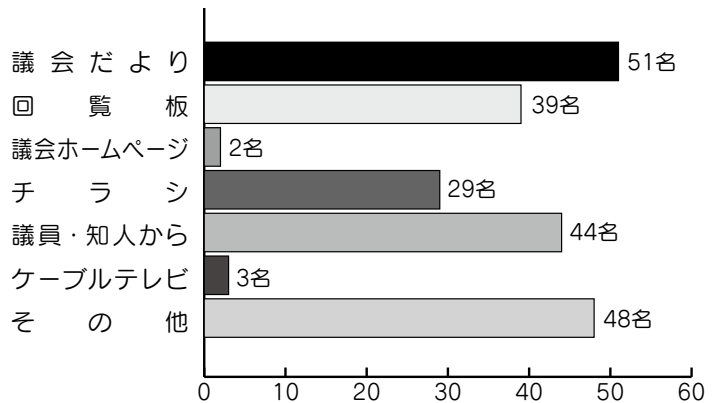
問1 あなたの性別を教えてください。



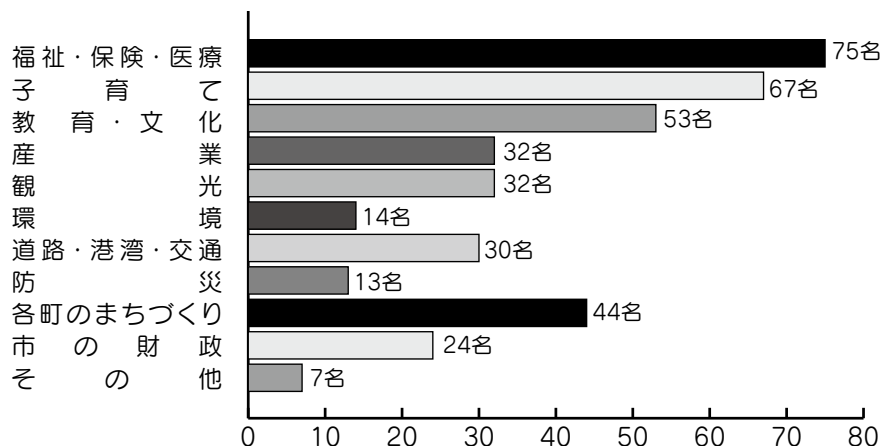
問2 あなたの年齢を教えてください。



問4 議会報告会の開催をどのように知りましたか。



問6 市政のどの分野に関心がありますか。



※アンケートは、記入された数をもとに集計しており、問6は複数回答ありです。

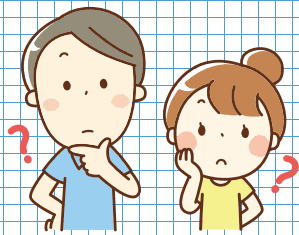
よく分かる！市議会豆知識 vol.1



伊万里市議会でのできごと

3月23日に閉会した令和2年第1回定例会は、市民の安心安全のために行政職員には新型コロナウイルス感染症対策に力を注いで頂きたいとの思いから、**議決事項**の審議を最優先に討論・採決を当初の日程より前倒して行いました。

また、通常3日間行われる**一般質問**は、不急のものは避け、最終日1日のみ行いました。



議決事項って何ですか？

一般質問って何ですか？



「議決事項」とは、

地方自治法第96条において定められている、行政が行う業務の中で**議会を通さなければ決定できない事項・事柄のこと**です。

その主なものは以下のとおりです。

- 条例の制定・改定・廃止について
- 予算の決定
- 決算の認定
- 地方税の賦課徴収について
- 契約の締結について
- 財産の管理について
(取得・処分・不動産信託・負担付き寄附及び贈与など)
- 自治体が当事者となる訴えに関すること
(審査請求・不服申立・和解・調停など)
- 支払義務が発生した損害賠償の額について

「一般質問」とは、

伊万里市議会会議規則第52条において定められている、行政が行う市政全般について進み具合や将来に対する考え方などを質問し、**市が市民のために適切な市政運営を進めているかを、議員がチェックし、提言するもの**です。

地方自治法上の規定はなく、各議会の会議規則等で規定されています。

事前に質問の要旨を文書で通告し、議長の許可を得て発言することができます。

ワンポイント

国の法律で定められているか否か、行政からの提案か議員からの提案かに大きな違いがあるね！



編集後記

新型コロナウイルスの発生により、世界中が経験したことのない事態に陥っており、本市も例外ではありません。

感染された方には心よりお見舞いを申し上げますと共に、ご回復を祈念しております。

今回の議会の判断をより分かりやすく伝えるため、上記特集ページを作成しました。

一日も早く終息することを議員一同願っております。

(加藤奈津実)

広報広聴委員

◎岩崎 義弥 ○西田晃一郎
坂本 繁憲 加藤奈津実
川田 耕一 山口 常人
山口 恭寿

[発行・ご意見]

伊万里市議会
伊万里市立花町1355-1
☎ 0955-23-2594
☎ 0955-22-1277
E-mail: gikai@city.imari.lg.jp

[編集]

広報広聴委員会

[印刷]

山口印刷株式会社